

## 平成23年度第2回生涯学習推進会議議事録

日 時：平成24年3月5日（月）午後1時30分～3時40分

会 場：木更津市民総合福祉会館2階第1談話室

出席者 工藤会長、金子委員、渡辺委員、浅井委員

池田委員、佐久間委員、三上委員（7名）

事務局 初谷教育長、根本課長、石田主査、水越主査

協働班：斉藤班長 浦辺主任主事

### 1. 開会

事務局（水越）

ただ今より、平成23年度木更津市生涯学習推進協議会第2回定例会を開催いたします。本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は0人です、報告いたします。また本日の会議成立に関してですが、委員14人中7人の出席です。生涯学習推進協議会設置要綱第6条第2項の規定により会議の成立を報告いたします。それでは、最初に工藤会長からごあいさつをお願いいたします。

### 2. あいさつ

工藤会長

重要な会議に遅れました事お詫びいたします。先日、公民館のつどいにご案内頂きまして、参加させて頂きましたけれど、特に今年は東日本大震災の関係から「震災と公民館」と言う特別講演会を実施しておりまして大変参考になるお話を講師の池上先生からお聞きしました。生涯学習の拠点でもある公民館、地域の拠点でもある公民館が行政と住民との間で重要な役割を果たしているとのこと、生涯学習推進協議会も他の行政機関や他業務に関連することにも視点を置き進めていければなど考えております。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

事務局

続きまして初谷教育長よりごあいさつをお願いいたします。

初谷教育長

皆さんこんにちは、毎日寒い日々が続いておりますが、私は午前中君津亀山少年自然の家運営協議会へ出席してまいりました。あちらは更に冷え込んでおりました。さて、本日の会議次第の中で今までの会議に無かった特徴的なこととしましては、協議事項の②にあります「公民館を中心とした地域自治について」このことにつきまして教育委員会も含めて市役所中の関係部局との協議によりまして新しい公民館のあり方、地域自治のあり方について研究を進めてきた経過がありますので、それについて説明、報告を頂いて委員の方々の御意見ご指導を仰ぐと

これがメインなのかなと言う気がいたします。いつもとちょっと変わった取組みではありますが、どうぞ宜しくお願いいたします。本日は企画課の方から2名の職員がお出で頂いております。お気づきになっている方もいらっしゃると思いますが、2人は昨年になります。公民館まつりの視察にもご一緒して頂きまして各地域での公民館活動の様子をご覧頂いて本日に臨んでおりますので宜しくお願いしたいと存じます。

### 3. 会議

#### 事務局

ありがとうございました。先ほど私、教育長を生涯学習本部長とご紹介してしまいましたが、正しくは生涯学習副本部長でした。訂正させていただきます。それでは会を進行していきたいと思っております。なお、今後の進行につきましては、生涯学習推進協議会設置要綱第6条により会長に進行をお願いいたします。それでは工藤会長よろしくお願いたします。

#### 工藤会長

それでは、これより進行を務めさせていただきます。平成23年度木更津市生涯学習事業について、生涯学習市民公開講座・生涯学習フェスティバル・生涯学習バス「まなび」の運行状況の3点について、事務局の説明をお願いします。

#### 事務局

事前に送付させていただいておりますのでポイントを説明いたします。私からは市民公開講座・生涯学習フェスティバルについて説明させていただきます。生涯学習市民公開講座ですが、今年度も7回の講義を開催しております。今年度は東日本大震の為、夏季節電の一環として8月中の開催を見送りました。応募者数につきましては、昨年度と比較いたしますと減少しまして102名となりました。減少の要因については簡単には説明できませんが、1つは東日本大震災からの自粛ムードも一つとして考えられるように思います。また清和大学への委託における内容（法化が中心となっている）へのマンネリ化も挙げられると思います。これについては事務局としては委託の中で1場面において他校の講師や、客員教授又は講師を柔軟に設定できないか、清和大学事務局へ交渉して行きたいと考えております。アンケート結果については資料し示したとおりでございます。

続きまして、生涯学習フェスティバルについてですが、今年度は市民会館フェスティバルとの合同開催の3年目になりました。生涯学習課での参加者数につきましては9,872名をカウントしました。市民会館フェスティバル側の発表では15,000人と聞いておりますが、私個人的見解では20,000人近いお客様が来場してきたのではないかと考えております。と言うのも市役所・警察跡地・福祉会館・合同庁舎の駐車場を用意したのにも拘らず、市役所前の4車線道路の両側を一時的に違法駐車した車で一杯になってしまいました。その為、警察署より注意勧告を頂きました。内容などについては資料のとおりでございますが、

記念講演のいすみ鉄道社長の「夢をかなえる方法」については大変好評でした。後日社長のブログにて一部関わりのある部分が掲載されておりましたので、本日配りました資料に加えさせて頂きました。お時間がある時に読んで頂ければと思います。来年度の生涯学習フェスティバルについてでございますが、先ほどの駐車場の件と併せて実行委員会で検討したところ、来年度は市民会館フェスティバルとは別れて単独で実施していく方針で考えております。又、来年度は市政70周年記念事業も実施されることから、それに絡めて実施していくことも案として考えております。実施日については11月4日（日）会場を市民総合福祉会館全館を利用しての実施を予定しております。以上簡単ではありますが、市民公開講座並びに生涯学習フェスティバルの報告とさせていただきます。

続きまして、生涯学習バスまなびの報告をさせていただきます。事前に送らせて頂いた資料が平成24年1月までの資料でございましたので本日改めて、2月分までの実績報告書を用意させて頂きましたので机の上をご確認頂きたいと存じます。また、新しい資料の1に下の計算式に誤りがありましたので3箇所ほど訂正ねがいます。（指示）それでは運行状況につきましてご説明いたします。現在のバスは平成20年に運行を始めまして今年で4年目となります。運行日については基本月曜日が運休日となりましてその他祝日、年末年始休日、更に4月初旬は委託契約の関係から利用が出来なくなっております。今年度は3月の東日本大震災の影響からキャンセルが相次ぎ、4月においては60%の低稼働率が記録されております。8月には10日ほど車検の関係から運休日を設定させて頂いております。9月からの稼働率が上がりまして2月までの平均稼働率は82.6%となっております。昨年のデータが78.2%ですので4月の反動が今年度は下半期に現れたとも考えています。次に2枚目をご覧下さい。こちらには使用日の内訳を示させて頂いております。年間で218日、223件となっております。主に教育委員会が主催する事業生涯学習課・文化課・郷土博物館・市内16公民館が中心となっております。公民館においては141件の利用がありました。公民館、教育委員会が使用しない空き日については社会教育団体やサークルに利用をして頂いております。但し空き日が非常に少ないので毎月はじめに抽選日はなるべく初めての利用団体に優先して頂き、あとは抽選で決定しております。稼働率が大変高くありがたいことですが、利用できない団体からの問合せなどが多く、理解を頂くのに苦慮しているところでございます。

#### 工藤会長

ご意見やご質問などはございますでしょうか。手前味噌ながら市民公開講座についてはリピーターが多いということもあり新規の受講者が増えればとのことですが、木更津高専でも講師について協力できるとも考えております。

#### 金子委員

生涯学習フェスティバルは年々飛躍的に参加者が増加していたようですがこれは市民がフェスティバルを生涯学習の原動力として捕らえているからなのかと考えております。先ほど来年度の実施については諸事情から市民会館フェスティバルと生涯学習フェスティバルを別れて実施していく方針との事です少しもったいないかなと思ってしまう。24年度のフェスティバルに期待したいと思います。

#### 事務局

確かに参加者が減ってしまうと言う懸念はあります。が実行委員会の反省会でも「参加者層の違い」についての意見がありました。特に警察からの警告に対して現段階で明確な対策が図れない事もあります。委員からの御意見も踏まえ実行委員会で検討していきたいと存じます。

#### 浅井委員

公開講座の件ですが、そろそろアンケートの内容なども変える時期だと思います。学習生のマンネリ化の打破についての方法をお聞かせ頂ければと思います。また、フェスティバルの件で駐車場の話がありましたが、市民としても市民会館の駐車場は大変使いにくいです。体育館と市民会館と同じ場所にある施設であるにもかかわらず、駐車場に線引きがしてあるのは市民としては理解しがたい。何とかならないものではないのでしょうか。

#### 事務局

公開講座については、清和大学の先生方が中心となっており、大学側との交渉になります。客員教授や専門外の場面を設けられるかを検討してみたいと考えております。駐車場の件については私もお答えができかねます。と言うのも浅井委員のおしゃるとおり、私も自由に使えてよいと考えるのですが縦割り行政の悪い面が出ているのかなと考えます。ただ、管理する側の人事によっては柔軟に対応していただける事もあるので引き続き働きかけていくしかないと考えています。

#### 浅井委員

バスの件ですが昨年度利用が出来なかった方が多いと聞いておりますが、バスをもう一台増やしてもらえないのでしょうか。またバスの利用について方法がわからないとの声があります。周知方法などについてはどうしているのかお聞かせ下さい。

#### 事務局

生涯学習バスについては運行運営にかかる維持費や、生涯学習バス基金の関係からも現在のところ増台の計画はありません。また、利用については市主催事業利用が優先であって、空いている日に社会教育関係団体に貸しております。ですから全くの一般市民の利用や特定の利用日設定での利用は出来ません。広報きさ

らづや、年1回利用 実績からの利用者懇談会を実施して利用促進、周知を図っております。

工藤会長

続きまして公民館を中心とした地域自治の振興についての説明をお願いします。

企画課（斎藤） 説明については、別添資料を参照。

工藤会長

ご意見やご質問などはございますか？

浅井委員

既にこちらの図にある推進委員や各部との話し合いを持った結果実施すると言うことなののでしょうか。

企画課（斎藤）

いいえ、今企画部でイメージ作りをしている所でございまして本日はイメージの提案をしている段階です。

浅井委員

従来の公民館活動との違いはどんなところなのか。

企画課（斎藤）

まだ、協働班と生涯学習課、公民館とで話し合いを進めている所ですので、公民館活動そのものが変るような事はありません。今年の4月から協働推進班を立上げ進めている所ですので、本日のところは概要を感じて頂ければと考えております。

工藤会長

公民館は社会教育の拠点ですが、既に市の行政機能の一部を担っているわけです。それに加えて更に地域自治の拠点と言うことを加えるとなると、従来の活動とどのように変わってしまうのか不安もあると思います。市側として公民館の位置づけをはっきりし計画を推進して頂けると私は理解しております。

浅井委員

私からは折角のこの計画が立ち切れにならないようお願いいたします。また一斉に各地域が同じように始めると言うことなののでしょうか。

企画課（斎藤）

地域の実情に合わせたペース実施していくイメージを持っております。

工藤議長

この組織を構成する自治体や諸団体、学校やサークルなど自発的な団体と地域に新しく居住してきた住民など、どの辺りまで広げていくのでしょうか。また新住民などの新しい地域力を「市民力」へ動員していくのでしょうか。

企画課（齋藤）

私どもは組織イメージ図にある全ての団体・組織が揃わなければいけないとは考えておりません。一個人でも参加、実現できる形態、例えばタウンミーティングのような意見交換の場のようなものも1つの方法であると思いますし、一部の団体や地域を代表とする高齢者の方が組織の中心とはとらえないで頂きたいと思います。それこそ学生ボランティアや子育て中の若いお母さん達にも同じ立場で発言できることが重用だと考えております。

工藤会長

初谷教育長様、何か今までのことでありますか

初谷教育長

イメージ図では示してありますが、中々イメージが沸かないのではないかと思います。理解しづらい、直接お話を聞いても中々具体的な姿が見えずらい市広報だけで理解してもらうには課題が大きいと思います。もう少し今まで協議したことを、上手に皆さんに伝えていく努力が必要なのではないかなと思います。これまでの7回の会議の報告を私も見てはおりますが、一番見えないのは「一体どういうことをやるのか」ですね。それを示すことが「民意を損なう」、「型にはめてしまう」と恐れているのかとは思いますが、ある意味で具体的なサンプルを紹介しながら広げていく手法も必要なのではないかなと思います。

三上委員

これが実現できれば素晴らしいと思いますが、組織としては行政を頂点としたピミッド型と考えてよろしいのでしょうか

企画課（齋藤）

行政がピラミッドの頂点に来ると言うようなイメージは持っておりません。地域と行政が並立しており地域が自立、行政とのコラボレーションして問題を解決していく組織づくりをイメージしております。

工藤会長

今のお話で「市民力」「地域力」を高める目的が防災や孤立死などの問題、役所だけでは解決できない事を住民の協力を得て行うとことが解ってきました。予算

はいづれ全地域に配分されると考えてよいのでしょうか。

企画課（齋藤）

予算の不均衡がないように考えていきたいと思います。

工藤委員

ある程度地域に力がないと実現できないということになるのでしょうかね

金子委員

公民館が中心となるという前提でとらえていいのでしょうか。

企画課（齋藤）

どこが中心になって推進していくかではなく、皆さんで集まって話し合う場を作ることが大切であり、一元的なものではないと考えて頂きたい。

金子委員

公民館はまなびの拠点でありますのでかなり重い負担が強いられるのではないかと心配しますが。

企画課（齋藤）

公民館を見ますと人員的な不足や施設老朽化などの問題を抱えており、これ以上の負担をかけるような事はしたくないとは考えます。図にもある地区担当員を24年度については協働班内に配備し、モデル地区に対しての専従サポートをしていきたいと考えております。また、いずれ公民館全てに地区担当員が配置されていくイメージを現段階では考えております。個人的には公民館に行けば「地区担当員」がいるような形式、とればとは考えます。また途中経過ということでご理解頂きたいと思います。

工藤会長

時間になりました。事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員各位におかれましても、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

平成24年3月 5日

木更津市生涯学習推進協議会

会 長 工 藤 敏 夫